

金賞 日本一 8連覇

酒類総合研究所（広島県東広島市）は二十一日、二〇二〇酒造年度（二〇二〇年七月～二〇二一年六月）の全国新酒鑑評会の審査結果を発表した。県内十七蔵元が出品した十七銘柄が金賞を獲得し、長野県と並び最多だった。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で決勝を行わず、金賞を選ばなかった昨年を挟み、都道府県別の金賞数で八連覇を達成した。本県の「日本一」は十度目。酒どころ福島の技術と品質の高さを改めて全国に示した。

全国新酒鑑評会



県内の金賞受賞銘柄は二年前の十二銘柄から五銘柄減った。東日本酒造協業組合（二本松市）と名倉山酒造（会津若松市）が十二回連続に記録を伸ばした。金賞最多受賞は東日本酒造協業組合の十八度目。

鑑評会は酒類総合研究所と日本酒造組合中央会の共催。全国規模で開かれる唯一の新酒鑑評会で今年で百九回目。吟醸酒を対象に一蔵元一銘柄限定で八百二十一銘柄が全国から出品された。

奥の松など 17銘柄

金賞受賞銘柄と蔵元	
金水晶酒造店（福島市）	金水晶酒造店（白河市）
千駒大吟醸酒造（白河市）	千駒乃井酒造店（天栄村）
寿々々乃川美酒造店（天栄村）	廣あぶく豊国酒造（古殿町）
東奥の豊の春山酒造（会津若松市）	東日本酒造協業組合（二本松市）
名倉山の春山酒造（会津若松市）	名倉山の川酒造店（喜多方市）
会津吉の川酒造店（喜多方市）	笹開当男山酒造（南会津町）
笹開当男山酒造（南会津町）	田榮玄萬一
田榮玄萬一	代青春

きょうパネル除幕 県庁

県は金賞受賞数8連覇を祝い、21日午後3時30分から県庁西庁舎の県民ホールで記念パネルの除幕式を行う。

県観光物産交流協会は21日午後5時から、福島市の県観光物産館内の「ふくしまラウンジ」で、金賞受賞酒を味わえる飲み比べイベントを開催する。

